

◆町の借入金（町債）と返済額（公債費）

平成18年度末の借入残高（見込み）は、230億719万1千円と一般会計の年間予算規模を上回る大きな金額となっております。これに伴う平成19年度の返済額（公債費）は、31億7,778万1千円となりますが、借入金の種類によって返済金の一部が国からの地方交付税に加算されています。

◆本町の財政状況について

1. 苦しい台所・・・

国が進めてきた「三位一体の改革」の影響から、一般財源（自由に使える金）が減少し、厳しい財政状況が続いています。このため、行革を進めながら、財政の建て直しに取り組んでいます。

2. 財政指標は・・・

町の財政状況を示す主な財政指標を見てみましょう。

① 経常収支比率

決まって支出しなければならぬ経費の割合で、通常は70～80％程度であるのが望ましいとされています。数値が高いほど、財政は硬直化していると言えます。

☆さつま町の比率の推移

H16=101.8 H17=100.4 H18=98.1

合併直後の決算時から大変厳しい数値となっていました。合併費（定数）や物件費などの歳出削減に取り組み、少しずつ改善してきています。しかし、厳しい状況には変わりありません。

② 実質公債費比率

平成18年度から用いられている指標で公債費（借金返済額）の実質的な負担割合を示します。18％以内が望ましいとされ、25％以上では単独事業の地方債が認められなくなり、起債制限団体となります。

☆さつま町の比率の推移 H18=20.2 H19=19.9

指標の導入時から数値が高かったため、「公債費負担適正化計画」を策定し、普通建設事業費を圧縮するなど、指標を18％以内に改善する取り組みをはじめました。新たな借り入れを制限することで、数値は改善されます。

財政の建て直しのために、今後も行革をはじめいろいろな取り組みを継続してまいります。町民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

◆基金の状況

平成19年9月30日現在

基金名	金額（千円）	基金名	金額（千円）
財政調整基金	770,015	電源立地地域対策交付金事業基金	17,006
減債基金	2,273	特別導入事業基金	21,923
住宅新築資金等貸付町債償還基金	8,504	奨学資金貸付基金	31,004
退職手当組合特別負担金基金	95,530	国民健康保険基金	472,114
公営住宅建設基金	100,813	高額療養資金貸付基金	10,000
庁舎建設基金	214,202	介護保険給付費準備基金	26,915
一般廃棄物処理施設等維持補修基金	174,957	薩摩診療所運営基金	67,030
土地開発基金	104,236	合 計	2,116,522

平成19年度水道事業の上半期執行状況

平成19年度上半期の水道事業の概要は次のとおりです。

◆平成19年度上半期業務量（平成19年9月30日現在）

項目	上水道事業		簡易水道事業	
	19年度予定	19年9月末	19年度予定	19年9月末
給水件数	4,590件	4,700件	5,601件	5,643件
総給水量	1,112,017m ³	591,975m ³	1,255,004m ³	686,403m ³
1日平均給水量	3,046m ³	3,243m ³	3,438m ³	3,761m ³

◆平成19年度上半期執行状況（平成19年9月30日現在）

（単位：千円）

科目	上水道事業			簡易水道事業		
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率
収益的収入	154,047	77,579	50.4%	267,072	114,545	42.9%
収益的支出	137,807	66,509	48.3%	257,637	108,010	41.9%
資本的収入	3,354	0	0.0%	61,308	99	0.0%
資本的支出	48,673	28,458	58.5%	165,826	89,988	54.3%